

硬 化 性

硬化剤季節型	温 度	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃
盛夏型	可使時間	使用不可					40分	30分
	上塗り可能						5時間	4時間
夏 型	可使時間	使用不可			40分	30分	20分	使用不可
	上塗り可能				4時間	4時間	3時間	
春秋型	可使時間	使用不可	40分	30分	20分	使用不可		
	上塗り可能		5時間	4時間	3時間			
冬 型	可使時間	40分	30分	20分	使用不可			
	上塗り可能	7時間	5時間	3時間				

注) 上塗り可能時間は希釈材をコンクリート面へ塗布した場合です。無希釈または専用骨材を使用する場合の乾燥は、湿度に影響されませんが、上塗り可能時間が1～2時間遅れますので上塗りまでの時間を調整してください。

注 意 事 項

1. 塗装 (施工) 前
- ・

氷点下または40℃以上の施工環境の場合には塗装を避けてください。
また、硬化中に凍結および結露が発生すると正常に硬化しませんので、その恐れがある場合は塗装を避けてください。

・

下地処理は塗料の付着を決定する重要な工程です。施工仕様書をよくお読みのうえ、十分に注意して行ってください。

・

既存塗膜に塗装する場合、既存塗膜が基材に充分付着しているか確認してください。アクリル系またはエポキシ系の塗膜はサンディング後直接塗装できますが、ウレタン系、シリコン系およびMMAなどのワックスを含む塗膜には付着しませんのでご注意ください。詳細については当社担当営業までお問い合わせください。
2. 塗装 (施工) 中
- ・

下地が濡れている場合は、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。

・

塗装中および乾燥中は、換気をよくし火気の取扱いは厳禁としてください。

・

混合攪拌ははかりおよび電動攪拌機 (1000rpm以上) を用いてください。

・

混合攪拌は容器の底面および壁面付近の主剤と硬化剤がよく混ざるよう充分に攪拌混合してください。

・

可使時間に充分注意して塗装してください。水希釈した場合は可使時間がわかりにくくなりますので可使時間を過ぎないようにご注意ください。

・

小分けする場合は充分に攪拌し均一にした後、規定の配合比 (重量比) を正確に計り取りその後混合攪拌を行ってください。

・

塗装中に休憩する場合は、ローラーはけに含む材料が可使時間を過ぎてしまい性能に影響するので新しいものに交換してください。

・

無希釈材およびペースト材は硬化反応による熱が発生します。主剤硬化剤混合後は容器内に留めず速やかに塗装面に撒いてください。
3. 塗装 (施工) 後
- ・

希釈した場合、湿度が高いときは乾燥が遅れます。塗面の乾燥状態をよく確認してから次の工程に着手してください。

・

施工道具の洗浄は、フロアトップアクアプライマーレパロでは水で洗ったのち合成シンナーNo.6で仕上げ洗いをしてください。フロアトップ#8000は合成シンナーNo.6で洗浄してください。
4. 全般的注意
- ・

製品使用の際にはSDS (製品安全データシート)、施工仕様書をよくお読みください。

・

製品改良などのため製品の中身・仕様は将来予告なしに変更する場合があります。

・

当仕様書に表示してあります塗り面積、工法はあくまで設計上の標準的な数値です。

・

本製品は定められた用途以外には使用しないでください。

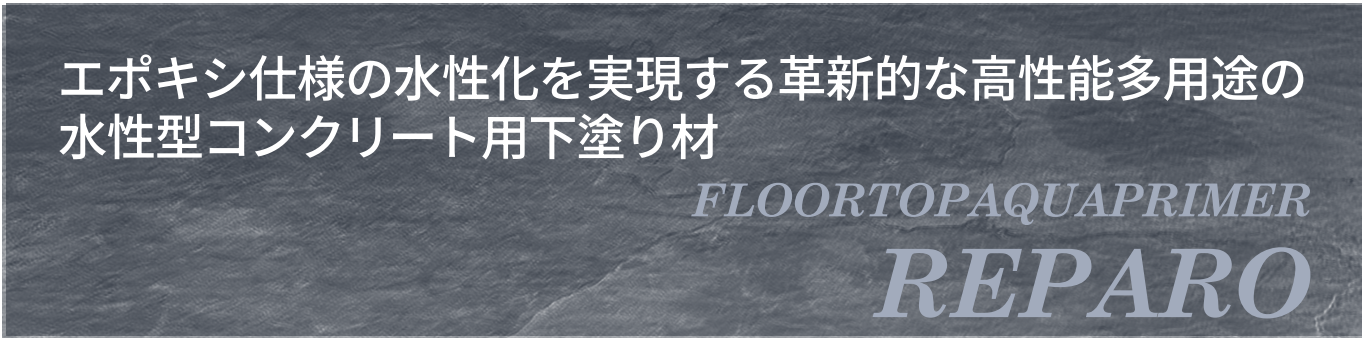
・

ご不明な点がございましたら、必ず使用前に当社にお問い合わせください。

水性二液エポキシ樹脂塗料

フロアトップアクアプライマー
レパロ

特 許 取 得
第7822067号



アトムクス株式会社

塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡 3-9-6 TEL.03-3969-3125 (直通) FAX.03-3968-7300



260504KO-②

ATOM'X

レパロは屋内コンクリートの修繕、復旧、回復を目的に仕上げ材を理想的な状態に整えるための製品です。水も一緒に固まる反応型水性塗料だから、入っている水そのものが硬化反応の一部になるため不陸調整に適しており、水で希釈することでプライマーとしても使用できます。塗装工事各工程の下地調整材としてお役立てください。

特長

- 屋内塗装の下地作成工程のいろいろなシーンで活躍します。
- 水性塗料で低臭なので、場所を選ばず快適に施工ができます。また周囲環境への影響も低減できます。
 - 従来の水性エポキシ系塗料よりも低温硬化性に優れます。
 - コンクリートへの密着力は溶剤型エポキシプライマーに劣りません。（※特許技術）
水希釈することで経済的に使用いただけます。
 - 無希釈材では高湿度条件下においても乾燥不良を起こしません。（※特許技術）
 - 配合された水も硬化成分として反応するため、揮発による体積減少（肉やせ）がありません。そのため、不陸調整材やパテ材として最適です。（※特許技術）
 - 特殊骨材を配合したペースト材は優れたピンホール止め効果から、プライマーとしごき塗りが同時に施工でき、工程を短縮します。

※特許第7822067号

製品荷姿

- 【荷 姿】 9 kgセット
- 主 剤 7 kg ポリペール缶
- 硬化剤 2 kg ポリ角瓶（盛夏型・夏型・春秋型・冬型）
- 骨 材 7 kg 紙袋（必要に応じて）

- 【塗り面積】
- 無 希 釈 材：約22m² 0.4kg／m²で使用した場合
- 希 釈 材：112m² 0.12kg／m²
- ペースト材：約22m² 0.7kg／m²で使用した場合
- ※下地の状況により、塗り面積は変化します。



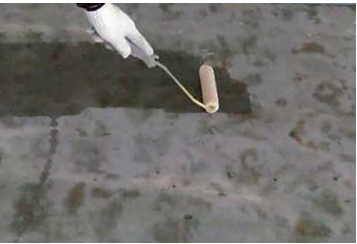
混 合 比

- 【無 希 釈 材】主剤：硬化剤 = 7：2
- 【希 釈 材】主剤：硬化剤：水 = 7：2：4.5
- 【ペースト材】主剤：硬化剤：骨材 = 7：2：7



使用 方 法

- ① 水希釈して（希釈材）
コンクリート用プライマーとして溶剤型エポキシプライマーの代わりに使用。
- ② 原液で（無希釈材）
平滑面を出す中塗りとして使用。
珪砂を加えて任意のペースト材として使用。
増粘剤を加えてパテ材として使用。
- ③ 専用骨材と組み合わせて（ペースト材）
プライマー兼しごき塗りに関して同時施工可能で工期を短縮。
ピンホール発生を抑えてパテ処理工程の軽減。
目地、クラック、粗面、凹みなどの軽微な不陸修正を兼ねて。



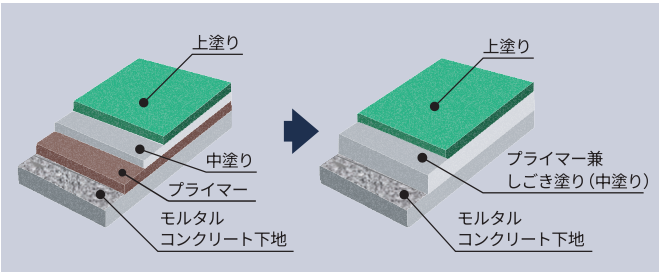
① 希釈材



② 無希釈材



③ ペースト材



通常3工程が2工程で施工可能

施工仕様例

プライマー・中塗り兼用工法					
① レパロ／フロアトップ#8000 流しのベペースト工法 1.3mm厚					
工 程	塗 料 名	希釈シンナー	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)
1	下地処理	—	—	—	—
2	プライマー	フロアトップアクアプライマー レパロ+骨材	—	0.7	4～48
3	上塗り	フロアトップ#8000	合成シンナー No.2	冬型のみ 0～3	1.2

② レパロ／フロアトップ#8000 流しのベ工法 0.8mm厚						一般工法
工 程	塗 料 名	希釈シンナー	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)	
1	下地処理	—	—	—	—	
2	プライマー	フロアトップアクアプライマーレパロ	清水	50	0.12	2～24
3	中塗り	フロアトップアクアプライマーレパロ	—	—	0.3	4～48
4	上塗り	フロアトップ#8000	合成シンナー No.2	冬型のみ 0～3	0.8	—